

取組項目	リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実
内 容	平成29年度5月22日よりプッシュ型の洪水予報等の情報発信を予定
実施主体	北陸地方整備局

配信される洪水情報の例

①河川氾濫のおそれ

【見本】

(件名)
河川氾濫のおそれ

(本文)
〇〇川の〇〇(〇〇市〇〇)付近で水位が上昇し、避難勧告等の目安となる「氾濫危険水位」に到達しました。堤防が壊れるなどにより浸水のおそれがあります。防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。
本通知は、〇〇地方整備局より浸水のおそれのある市町村に配信しており、対象地域周辺においても受信する場合があります。

(国土交通省)

②- i 河川氾濫発生 (河川の水が堤防を越えて流れ出ている時)

【見本】

(件名)
河川氾濫発生

(本文)
〇〇川の〇〇市〇〇地先(左岸、東側)付近で河川の水が堤防を越えて流れ出ています。防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。
本通知は、〇〇地方整備局より浸水のおそれのある市町村に配信しており、対象地域周辺においても受信する場合があります。

(国土交通省)

②- ii 河川氾濫発生 (堤防が壊れ、河川の水が大量に溢れ出している時)

【見本】

(件名)
河川氾濫発生

(本文)
〇〇川の〇〇市〇〇地先(左岸、東側)付近で堤防が壊れ、河川の水が大量に溢れ出しています。防災無線、テレビ等により自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。
本通知は、〇〇地方整備局より浸水のおそれのある市町村に配信しており、対象地域周辺においても受信する場合があります。

(国土交通省)

取組項目

避難勧告等の発令に着目した防災行動計画(タイムライン)の整備及び検証と改善

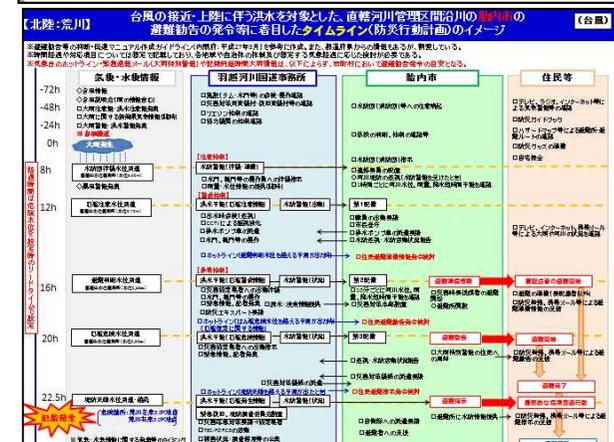
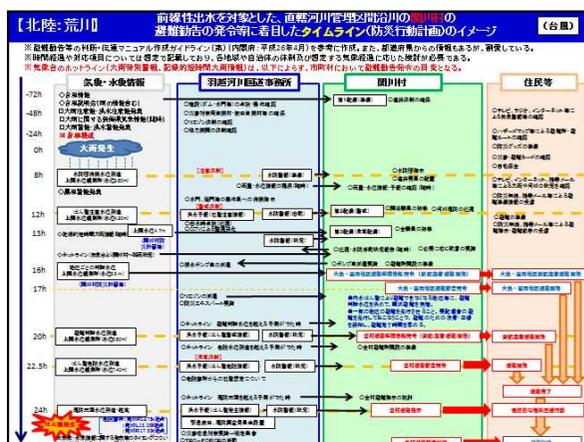
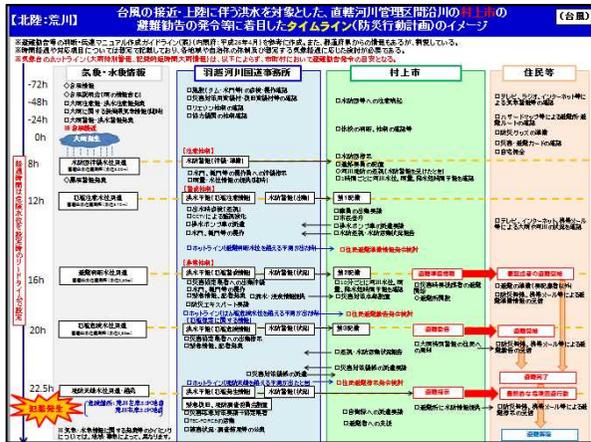
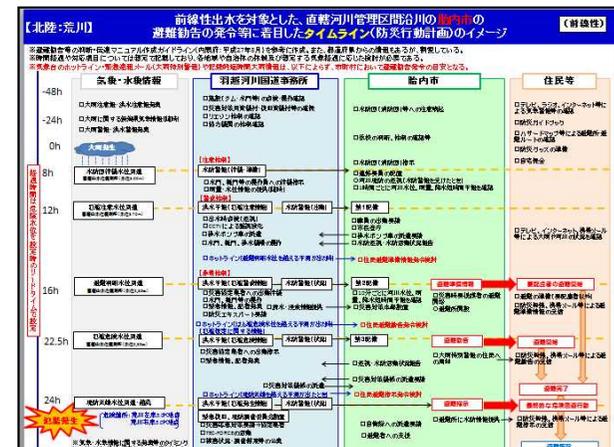
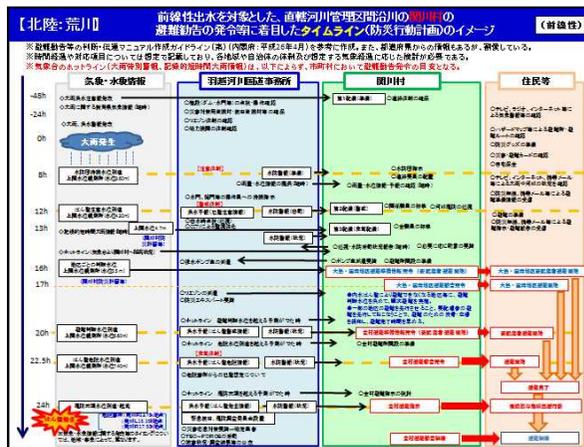
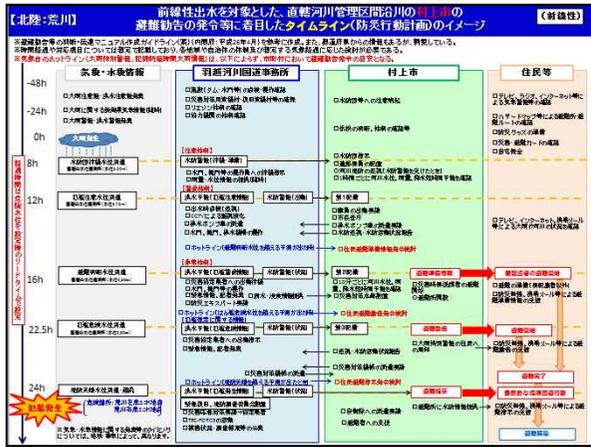
内容

国管理区間のタイムラインを策定

実施主体

北陸地方整備局羽越河川国道事務所、村上市、関川村、胎内市

国管理区間の沿川自治体(2市1村)においてタイムライン(前線・台風)を策定が完了した。今後は検証と改善を行っていく。



【村上市】

【関川村】

【胎内市】

取組項目	自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検を実施
内 容	重要水防箇所等の合同巡視を実施
実施主体	北陸地方整備局羽越河川国道事務所、新潟県村上地域振興局地域整備部 村上市、関川村、胎内市

羽越河川国道事務所、新潟県、村上市、関川村と合同で荒川(国管理区間)の重要水防箇所と水防倉庫の合同巡視を行うとともに、荒川(国管理区間)の重要水防箇所の情報共有を行いました。

【実施概要】

- ・日 時：平成29年6月11日 9:00～12:00
- ・参加者：羽越河川国道事務所、新潟県、村上市、村上市消防団、関川村、関川村消防団、胎内市沿川住民
- ・内 容：① 重要水防箇所の点検(荒川を3班に分けて実施)
② 水防倉庫の資材確認・点検を実施



重要水防箇所の点検状況(H29.6.11)

取組項目	小中学校等における水害教育を実施
内 容	出前講座を実施
実施主体	北陸地方整備局羽越河川国道事務所

羽越河川国道事務所では小中学校からの要請により、出前講座を実施した。

【実施概要】

- ・実施回数：平成28年度は4回実施
- ・参加者：羽越河川国道事務所、金屋小学校、保内小学校、関川小学校、荒川中学校
- ・内 容：荒川の概要と水害について



出前講座の状況

取組項目	羽越水害記念事業の実施(シンポジウム・総合水防演習等)
内 容	委員会・幹事会を開催
実施主体	羽越水害50年記念事業(荒川水系)実行委員会、荒川総合水防演習運営委員会、国土交通省北陸地方整備局、新潟県、村上市、荒川水防連絡会

今年で50年を迎える羽越水害の記念事業実施にむけての委員会・幹事会・各部会を開催した。

【実施概要】

- ・実施回数：羽越水害50年記念事業(荒川水系)実行委員会3回、幹事会3回
荒川総合水防演習運営委員会2回、幹事会2回
- ・内 容：平成29年度の記念事業実施に向けての連絡調整



羽越水害50年記念事業(荒川水系)実行委員会 第2回委員会



平成29年度荒川総合水防演習運営委員会

取組項目	県北地域が一丸となり、毎年関係機関が連携した水防実働訓練等実施
内 容	水防訓練を実施
実施主体	荒川水防連絡会

荒川水防連絡会では、出水期を迎え水防体制の強化と水防作業能力の向上を図り、もって災害時の被害軽減を期することを目的として水防訓練を実施

【実施概要】

- ・日 時：平成28年6月12日
- ・参加者：荒川水防連絡会、村上市消防団、関川村消防団、胎内市消防団、北陸地方専門防災エキスパート
- ・内 容：水防工法の実働訓練



取組項目	自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の高水防の合同巡視の実施
内 容	重要水防箇所等の合同巡視を実施
実施主体	新潟県村上地域振興局地域整備部

新潟県村上地域振興局では、自治体、地元水防団と合同で県管理河川の重要水防箇所と県と村上市が所有する水防倉庫の合同巡視を行うとともに、県管理河川の重要水防箇所の情報共有を行いました。

【実施概要】

- ・日 時：平成28年5月18日 13:30～16:30
- ・参加者：新潟県4名、村上市(消防本部含む)9名、村上市消防団3名、村上警察署3名
- ・内 容：① 重要水防箇所の点検(県管理河川のうち、村上市神林支所管内の河川を重点的に実施)
② 新潟県と村上市が所有する水防倉庫を点検



重要水防箇所の点検状況

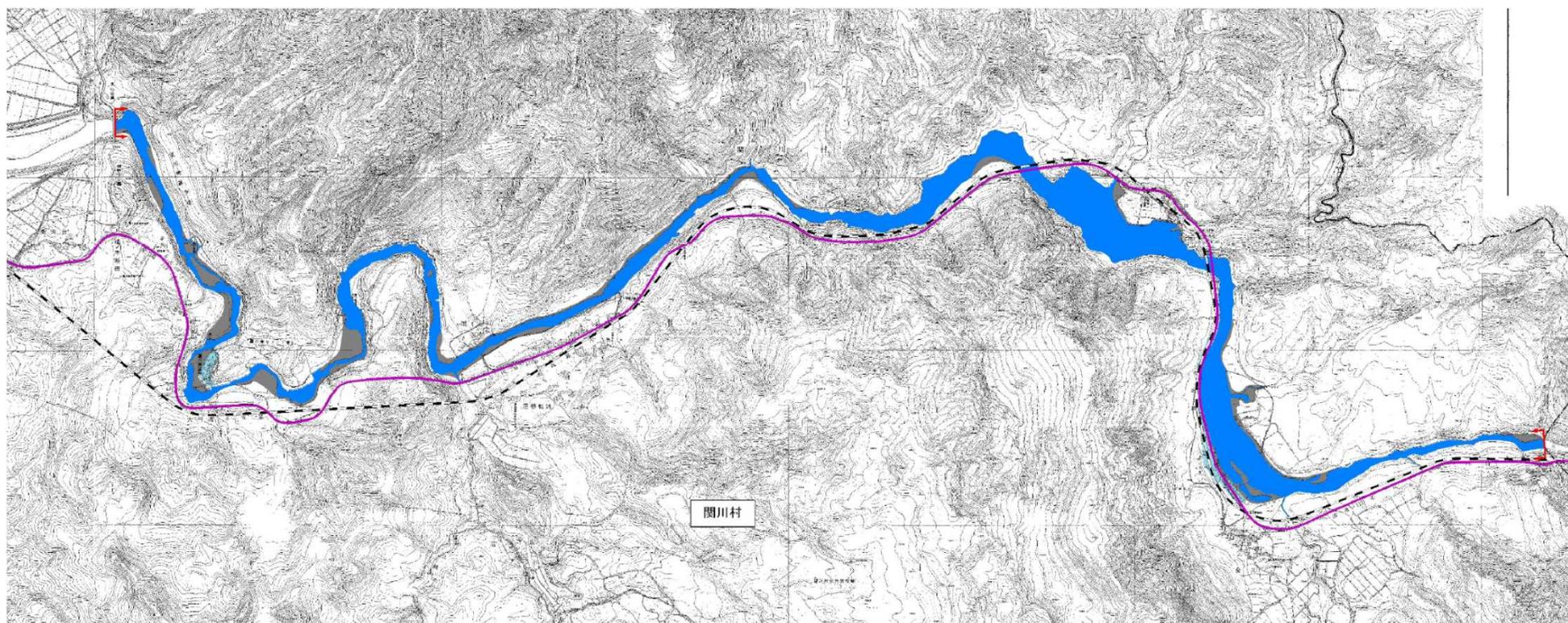


県管理河川の重要水防箇所の確認と意見交換

取組項目	想定最大も含めた破堤点別浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
内 容	想定最大規模も含めた浸水想定区域図の作成
実施主体	新潟県村上地域振興局地域整備部

新潟県村上地域振興局では、荒川の県管理区間における想定最大規模の浸水想定区域図を作成中
【実施概要】

- ・対象河川：一級河川 荒川
- ・対象区間：丸山大橋～山形県境
- ・公表時期：平成30年出水期までに公表予定



(参考) 現在公表済みの計画規模(概ね100年に1回の大雨を想定)の浸水想定区域図

取組項目	気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善
内 容	気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善
実施主体	新潟地方気象台

気象庁では、気象警報等に関連して「危険度の色分け」や「警報級の可能性」等の提供を開始しました。

【実施概要】①・日 時：平成29年5月17日
 ・内 容：危険度を色分けした時系列、警報級の可能性

②・日 時：平成29年7月4日
 ・内 容：「大雨警報（浸水害）の危険度分布」及び「洪水警報の危険度分布」

改善Ⅰ 危険度を色分けした時系列 5/17提供開始

- 今後予測される雨量等や危険度の推移を時系列で提供
- 危険度を色分け

改善Ⅱ 「警報級の可能性」の提供 5/17提供開始

- 夜間の避難等の対応を支援する観点から、可能性が高くなくても、「明朝までに警報級の現象になる可能性」を夕方までに発表
- 台風等対応のタイムライン支援の観点から、数日先までの警報級の現象になる可能性を提供

日付	明朝まで	明日	明後日	(金)	(土)	(日)
警報級の可能性	雨 中	—	—	中	高	—
	風 中	—	—	高	高	—

改善Ⅲ メッシュ情報の充実・利活用促進 7/4提供開始

- メッシュ情報の利活用促進
- 災害発生の危険度の高まりを評価するメッシュ情報の技術の開発（表面雨量指数・流域雨量指数）

【降雨により災害発生の危険度が高まるメカニズム】

- メッシュ情報の技術を活用した大雨・洪水警報の改善
- 大雨警報(浸水害)・洪水警報等を発表した市町村内においてどこで実際に危険度が高まっているかを確認できる危険度分布の予測（メッシュ情報）の提供

- メッシュ情報の技術を活用した大雨特別警報の発表対象区域の改善

取組項目	住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実
内 容	自主防災のあり方、役割の啓発を実施
実施主体	村上市

東日本大震災での体験を通して得た教訓などを講演いただき、防災・減災について日ごろから備える意識を高めることを目的として実施しました。

【実施概要】

- ・日 時：平成28年12月3日(土) 10:00～12:00
- ・参加者：村上市内の自主防災組織や区の役員など
- ・内 容：講演会



講師：齊藤賢治様

一般社団法人 大船渡津波伝承館 館長



講演会の状況①



講演会の状況②

取組項目	住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実
内 容	自主防災のあり方、役割の啓発を実施
実施主体	新潟県、村上市

避難支援対策の取組を進めるため、避難支援者となりうる方に向けた研修機会を提供し、避難支援に関する理解を深めていただくことを目的として実施しました。

【実施概要】

- ・日 時：平成29年2月12日（日） 13:30～15:40
- ・参加者：村上市内の町内会や自主防災会の防災担当、防災士など
- ・内 容：講演会、事例発表



講演会の状況①



講演会の状況②



講演会の状況③

タイムラインに沿った荒川総合水防演習を実施しました。

羽越水害から50年の節目を迎える新潟県荒川において、「水防災意識社会再構築ビジョン」を踏まえた『逃げ遅れゼロ』『社会経済被害の最小化』の実現に向け、積み土のう工のような実践的訓練や自衛水防組織をはじめとする地域社会が一体となった水防活動の実施、洪水情報のプッシュ型配信を活用した避難訓練など、タイムラインに沿った訓練を実施しました。

- 開催日時 平成29年5月27日（土） 8:30～12:30
- 実施場所 荒川右岸荒川橋下流河川敷（新潟県村上市荒川緑新田地先）
- 実施した演習
水防工法訓練、情報伝達訓練、緊急排水訓練、避難訓練、救助訓練 他
- 参加機関 50機関
- 参加者 大野国土交通大臣政務官、高井新潟県副知事、高橋村上市長、（衆）斎藤議員、（参）森議員、塚田議員、佐藤議員、足立議員をはじめとする約2,500人（来賓及び一般見学者含む）

総合水防演習のポイント

- 消防団による荒川流域の特性に合った実践的な水防工法の実施。
- 大規模水害を想定し、関係機関が一体となったタイムラインに基づく実践的訓練。
- 地域防災力向上のための地域住民、地域企業等の参加による実践的訓練。
- 洪水氾濫発生を想定した排水活動・救助訓練の実施。
- 「羽越水害」の記憶を次世代へ語り継ぐための防災教育・水害記録の展示。



開会式の様子
約1,200名が演習に参加

消防団による流域の特性にあった実践的な水防工法の実施

水防工法訓練



木流し工【浸食対策】



立蛇籠工【浸食対策】



シート張り工
【浸食・漏水対策】



T型マット工
【浸食・漏水対策】



月の輪工【漏水対策】



川倉工【浸食対策】



積み土のう工・改良積み土のう工【越水対策】



関係機関が一体となった洪水タイムラインに基づく実践的訓練の実施



羽越河川国道事務所による
国道7号道路啓開訓練



土砂災害の発生を想定した
陸上自衛隊による救援物資搬送
（大型輸送ヘリ、高機動車）



ブロック投入工及び大型土のう
投入工による応急復旧訓練

関係機関が一体となった洪水タイムラインに基づく実践的訓練の実施



港湾業務艇「あさひ」による漂流物調査



無人バックホウによる流木撤去作業



救援物資輸送訓練



管工事協同組合によるライフライン復旧訓練



陸上自衛隊第30普通科連隊と村上市赤十字奉仕団による野外炊飯・炊き出し訓練



地域住民の参加による実践的訓練



自主防災会による自衛水防活動（土のう積み）



洪水氾濫からの住民避難及び救難・救助訓練



ヘリによる水難者の吊り上げ救助訓練
(新潟県消防防災航空隊・海上保安本部)



村上市消防本部と日本赤十字社新潟県支部によるロープブリッジによる救助、搬送、応急手当訓練



荒川流域地区住民による住民避難訓練

情報発信及び展示・体験コーナー



瀬波温泉潮太鼓、新潟県警察音楽隊の演奏によるオープニングセレモニー



地元小学生による総合体験学習



B S N ラジオの現地生放送

■ 体験コーナー



土のうつくり体験



地震体験



豪雨体験



流速体験

■ 展示コーナー



車両展示コーナー



大したもん蛇



パネル展示



土石流模型実験